



中 田 小

平成27年8月31日

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



「〇〇に取り組んだぞ」

校長 蒲谷 猛

『浜辺の歌』

作詞：林古溪、作曲：成田為三

あした浜辺をさまよえば  
昔のことぞ忍ばるる  
風の音よ 雲のさまよ  
寄する波も かいの色も

ゆうべ浜辺をもとおれば  
昔の人ぞ忍ばるる  
寄する波よ かえす波よ  
月の色も 星のかげも

はやちたちまち波を吹き  
赤裳のすそぞぬれひじし  
病みし我はすべていえて  
浜の真砂 まなごいまは



40日間の長い夏休みが終わり、子どもたちのぐっとたくましくなった顔と元気な声が学校にもどってきました。

この夏、様々な出来事がありました。神奈川県代表の東海大学付属相模高校が甲子園で優勝したことも大きなニュースの一つです。東海大相模高校にとって45年ぶり二度目の優勝と大きく報道されましたが、甲子園夏の大会の成績で見ると、神奈川県代表が真紅の優勝旗を持ち帰ったのは、横浜高校松坂大輔投手が決勝戦でノーヒットノーランを達成した1998年以来ですから、神奈川県民にとっても、とてもうれしいニュースでした。

その東海大相模高校が県代表を決めた、神奈川県大会決勝戦。対戦相手の横浜高校渡辺元智監督が今季限りで引退することが公表されました。名将の引退が惜しまれますが、これまでの指導のなかで残してきた名言は、これからの世代にも影響を与え続けることでしょう。

渡辺監督の名言集のなかでも「甲子園には、魔物なんて棲んでいない。もしも、棲んでいるとしたら、お前たちの心の中にいる。」はご存知の方も多いいと思います。大観衆のためか、全国大会という場のためか、予想外の展開から苦境に立たされる試合がよくあることから度々使われる言葉「甲子園には魔物が棲む」をきっぱり否定。すべて自分の力量や精神力からくると自覚しろという戒めは至言であると私は思います。

夏休み前朝会で、子どもたちに「一日の1/3ほどを占める時間が夏休み中は自由になる。目標をもって有意義につかってほしい。」という話をしました。目標をもち、計画を立てても、なかなかその通りにはいかないもの。甲子園に立たなくたって、自分の心に棲む魔物と戦わなければいけないことは身近にあることです。今夏を振り返って、「今年の夏は、〇〇に取り組んだぞ」と胸を張って言うことができたら、たとえ今は目に見えていなかったとしても、大きく成長していることは間違いありません。

今日から学校生活が再スタートします。途中で前期・後期の切り替えはありますが、夏休み明けから冬休みまでの間が学校生活において一番長い活動スパンです。その間の授業日数は80日。ちょうど夏休みの2倍あります。「序・破・急」の「破」、「起・承・転・結」の「承・転」にあたるこの時期をどのように過ごすかが「27年度は〇〇に取り組んだぞ」と胸を張って言えるかどうかのカギです。「目標」と、魔物と戦う「意志」とをもって。

子どもたちがやる気スイッチをONにし、達成感や自己肯定感を高めていくことができるように、あらためて教職員一同子どもたち一人ひとりと向き合っていきます。一層のご理解・ご協力をよろしくお願いします。